

中国の記事から（畜産）

2006年1月10日号

目次

◎四川省で新たな鳥インフル発生

【経済日報 2006年01月04日】

◎全国の家禽、タマゴ市場はやや好転

【国際商報 2006年01月05日】

◎四川省で新たな鳥インフル発生

【経済日報 2006年01月04日】

農業部は、3日、四川省大竹県楊家鎮(村に相当)で2005年12月22日に1800羽の家禽が死亡したのは高病原性鳥インフルエンザ感染が原因であったと発表した。国家鳥インフルエンザ参考実験室が、3日、死亡した家禽から高病原性鳥インフルエンザH5N1型ウイルスを検出した。

農業部は、これまで2回にわたり楊家鎮に専門家チームを派遣し感染拡大と予防にあたり、四川省獣医部門も地元の家禽1万2900羽を殺処理しており、楊家鎮での感染拡大は抑えられている。

◎全国の家禽、タマゴ市場はやや好転

【国際商報 2006年01月05日】

商務部市場運行司は、2005年12月30日、鳥インフルエンザの流行が抑えられたため家禽、タマゴ市場はやや好転したが、販売量、価格は鳥インフルエンザ発生前の水準には回復していないとの見方を発表した。

全国2005年12月19～25日の鶏肉平均小売価格は、11月28日～12月4日より1.5%増の13.19元(1キログラム。以下同じ)となり、9月より2.3%減となった。鶏肉販売量は、11月28日～12月4日より14.7%増加したが、9月より22%減となっている。

また、12月19～25日のタマゴの平均小売価格は11月28日～12月4日より1.03%増の5.86元、9月より8%減、タマゴ販売量は、11月28日～12月4日より0.92%増、9月より3.58%

減となった。旧正月(1月29日)を控え家禽、タマゴの消費量は今後増加するとみている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。